

# 化学プロセスのスケールアップ、コスト試算 および事業採算性検討

**日時** 2015年6月16日(火) 10:30~16:30

**会場** 江東区産業会館 第1会議室 東京都江東区東陽4-5-18

**受講料** 49,980円 ※昼食・資料付

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。  
 ・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円  
 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。  
 ※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。  
 (ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

**主催** (株)R&D支援センター

定員:30名

※満席になり次第、  
募集を終了させていただきます。

**講師**

阪井 敦 氏 / (株)RI 環境化学プロセス研究部 理事 部長

**趣旨**

まず、プロジェクト・マネジメントの概念と重要性を説明する。次に、スケールアップの難しさと重要性について述べ、研究のステージに合わせた事業採算性の検討の方法、ディスカウント・キャッシュ・フロー法(DCF法)を用いた事業採算性検討、投資意思決定について述べる。

習得できる知識

- ・プロジェクトマネジメントの概要と重要性
- ・スケールアップの難しさと重要性
- ・開発ステージにマッチしたフィジビリティ検討
- ・事業採算性検討と投資意思決定の考え方

**プログラム**

- プロジェクトで業務を考える
  - プロジェクトとオペレーションの違い
  - プロジェクトマネジメントとは
- 実用化への第一歩スケールアップ
  - 化学者の視点(プロダクト)と化学工学者の視点(プロセス)
  - スケールアップの難しさ
  - 連続プロセスとバッチプロセスのスケールアップ
  - 実験室と実設備の違い
- コストは1つではない
  - コスト構成
  - 色々なコストの考え方
  - 原価計算の目的
- 開発ステージにマッチしたコスト試算
  - 研究段階における超概略コスト試算
  - 開発段階における概略コスト試算
  - 試作段階におけるコスト試算
    - 物質収支と変動費の推算
    - 設備投資額の概算
    - 多品種の場合のコスト試算
- 事業採算性検討と投資意思決定
  - 事業採算性検討に必要な値
  - ディスカウント・キャッシュ・フロー法による計算
  - リスク把握と感度分析
  - 投資判断

## 『化学プロセスのスケールアップ、コスト試算および事業採算性検討』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号	FAX		
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。			
<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238** までお申込みください。

■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-3599-5811)へご一報下さい。

■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。